

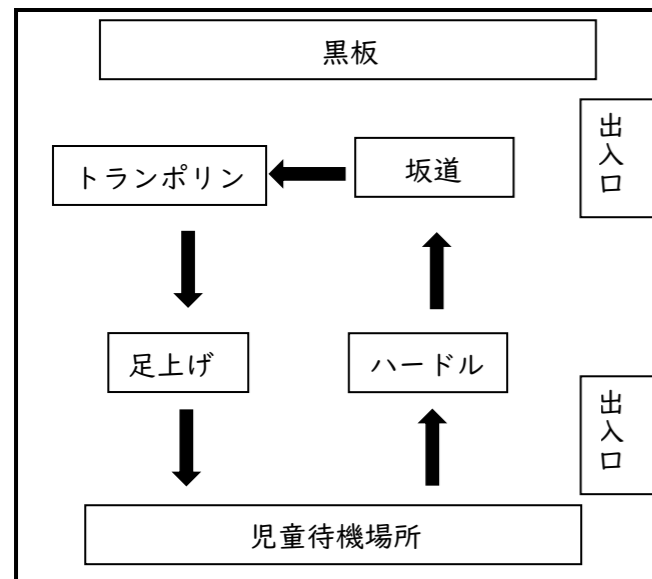
授業づくりシート

領域名 自立活動

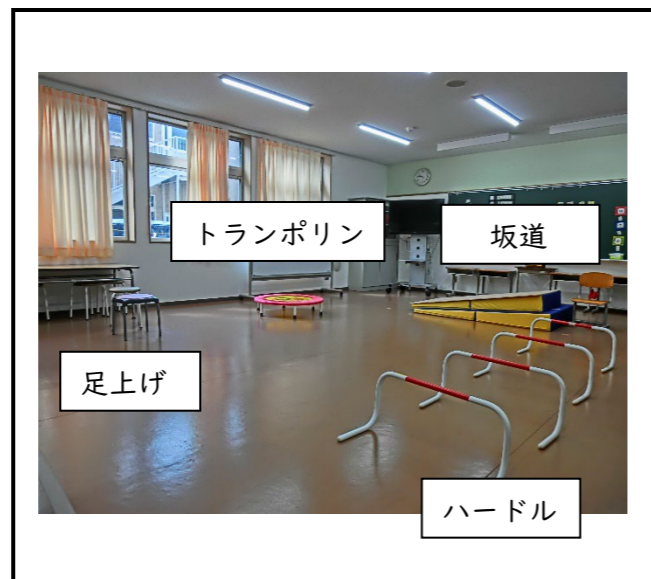
3 学年

テーマ	「いろいろな身体の動かし方を知ろう！」	
事例児の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・体重が増加傾向にある。(健康の保持) ・活動に飽きやすい。(心理的な安定) ・周りの状況やルーティンで自分から動くことができる。(環境の把握) ・尖足であり、身体を動かすことに対して消極的である。(身体の動き) ・簡単な指示理解ができる。(コミュニケーション) 	
事例児の個別目標	<ul style="list-style-type: none"> ・道具に合った身体の動かし方を知る。(身体の動き) ・自分から活動に取り組むことができる。(心理的な安定、環境の把握) 	
活動内容と具体的な手立て		
活動内容	ねらい	具体的な手立て
サーキット運動	<ul style="list-style-type: none"> ・道具に合った身体の動かし方を知り、取り組むことができる。 ・自分から活動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必然性をもたせることで、自然と身体を動かす環境を作る。 ・道具を使用し、様々な身体の動きを引き出す。 ・同じ活動に繰り返し取り組み、見通しがもてるようにする。 ・継続して活動に取り組めるように、終わりをわかりやすくしたり、最後にお楽しみを用意したりする。

○場の配置



○教材教具等



○展開

時配	活動内容	教師の支援等
9:50	<p>①初めの挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を正す。 <p>②呼名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名前を呼ばれたら、返事をしたり、教師とハイタッチしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・足を床に着けること、手は膝の上に置くことを確認する。(T1、T2) ・目線を合わせ、大きな声でゆっくりと名前を呼ぶ。(T1) ・実態に応じて、児童の前に手を差し出し、ハイタッチで答えられるようにする。(T1)
9:55	<p>③サーキット運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手本を見て、種目の取り組み方や流れを知る。 ・サーキット運動に取り組む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○ハードルまたぎ</p> <p>体幹を鍛える、バランス感覚の向上、重心移動、股関節の柔軟性や可動域の向上</p> <p>○坂道くだり、坂道のぼり</p> <p>筋トレ効果、バランス感覚の向上</p> <p>○足上げ</p> <p>バランス感覚の向上、かかとを着ける経験</p> <p>○トランポリン</p> <p>体幹を鍛える、バランス感覚の向上、お楽しみ活動の一つとして</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・全種目の手本を示し、取組方がわかるようにする。(T1) ・安全に行えるように、前の児童と間隔を開けて活動に取り組むようにする。 ・種目に応じた身体の動きができるように、適宜支援をする。(T1、T2) ・楽しい雰囲気を取り組めるように、音楽を流す。
10:10	<p>⑤終わりの挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を正す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・足を床に着けること、手は膝の上に置くことを確認する。(T1、T2)

○成果と課題

- 片足で行う種目（ハードル・足上げ・坂道）を取り入れ、正しい方法でサーキットに取り組むことで、かかとを着ける場面が増えてきた。
- 足上げは、ゆっくりと行うことが難しかった為、片足の状態を10秒程度保つようにすることで、かかとを床に着けるとい動きがねらえるようになった。
- 坂道とトランポリンを楽しみにサーキットを行う児童が多く、自分から意欲的に取り組む姿があった。
- △活動中は種目に合う身体の動かし方ができるものの、日常生活に戻ると普段の身体の使い方に戻る。(尖足歩行)